

学校教育目標



夢 に向かっていく生徒
命 を大切にする生徒
絆 を互いに深め合う生徒



令和7年度
学校だより No. 7
令和7年6月12日

市川市立第二中学校
校長 藤井 義康

ホームページ <https://ichikawa-school.ed.jp/dai2-chu/>

体育祭を終えて

6月6日（金）、多くの保護者や地域の方にお越しいただき、令和7年度体育祭が行われました。開会式の時には爽やかな風が吹いていましたが、徐々に風が強まり、午後は強風の中の体育祭となってしまいました。

そのような状況でしたが、一人一人が自分の持てる力を存分に発揮して、二中の体育祭を作り上げてくれました。開会式では、生徒会長の話やスローガン（あれ二中いいじゃん 強いじゃん）の紹介がありました。

プログラムに入り、応援合戦の後は各学年の個人種目、カードやじゃんけんなど運にも左右される競技でしたが、一人一人、自分の持っている力を100%出し、ゴールを目指す姿が印象的でした。

続く学級対抗リレーは、バトンパスがうまくいかないなどハプニングもありましたが、どんなに差がついてもあきらめない、ひたむきに走る姿に改めて二中生の素晴らしいを感じることができました。

白百合学級と先生方による「心を一つに！」は、白百合学級と先生方が一つのボールをリレー形式で運び勝敗を競い合う競技で、多くの笑顔を見る事ができました。

午前中の最後は全校生徒による紅白対抗の棒引きと綱引き、競技も盛り上がりましたが応援が素晴らしい、みんなの気持ちが一つになっていました。

午後の始まりは各学年種目でした。これまで何度も練習を重ね、学級のために力を合わせ、全力で挑みました。練習通りにはいかない学級もありましたが、力を出し切りました。

体育祭のフィナーレを飾るのは紅白対抗の選抜リレー。自分の力のすべてを出してバトンをつなぐ姿、その走る姿に多くの声援を送る応援席、二中生の心が一つになり、体育祭の競技が終了しました。

練習や準備・進行の中心となった体育委員をはじめ、体育祭を盛り上げようと応援団に立候補してくれた皆さん、そして体育祭を成功させようと使命感を持って係の仕事をしてくれた皆さん、体育祭を作り上げた全校生徒の皆さん、本当にありがとうございました。この体育祭で得たものを、今後の学校生活に生かしてほしいと思います。

保護者、地域の皆様、平日にも関わらず体育祭にお越しいただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。



卒業後の進路決定へ！

6月10日（火）5校時に3年生の進路集会が行われました。進路指導主事の関山教諭より、進路保護者会で保護者の方に説明した内容をベースに、改めて生徒たちにも説明をいたしました。



どの生徒も真剣に話を聞いていましたが、この時期は、自分が卒業後の進路を決めなくてはならないことに、まだまだ切実感を持てず、なかなか自分のこととして捉えられない生徒も多くいます。

確かに、「〇〇高校を受ける」というような具体的な目標が決まってくるのはこれからの中学生が大半です。ただ、進路説明会でもあった通り、就職なのか進学なのか、進学であれば全日制へ進むのか定時制なのか通信制なのかなど、基本的な道筋をまずは決める必要があります。そしてその道筋をご家庭で確認するとともに、進学するのであれば、これから夏季休業中や9月以降に高校が主催する体験入学へ向けて準備を進めていかなければなりません。体験入学は自分の進学先を決めるのに最も有効な手段であり、複数校行くことで自分の目指す学校、入学したい学校が見えてきます。

時間はあっという間に過ぎてしまいます。時間を有効に使いながら、自分がこれから進むべき道を見つけていってほしいと思います。

～3年生実力テスト～

6月13日（金）には3年生にとって今年度1回目の実力テストがあります。1日5教科、試験時間は50分（英語は60分）、今まで学んできたことがどれだけ身についているのか。今の自分の力を確認する機会です。また、試験の点数だけでなく、緊張感や集中力が持続できるのかといった気持ちの部分も確認することが大切です。ぜひ集中して取組んでほしいと思います。

※学校生活の様子も、二中ブログ（HP）に掲載しています。ぜひチェックしてみてください！

